



2026年5月15日

各位

会社名 株式会社 ヤシマキザイ
代表者名 代表取締役 社長執行役員 関 正一郎
(コード番号：7677 東証スタンダード市場)
問合せ先 代表取締役 副社長執行役員 阿部 昌宏
(TEL 03-4218-0096)

2026年3月期通期連結業績予想と実績の差異および法人税等調整額(益)の計上に関するお知らせ

2026年2月13日に公表いたしました2026年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、2026年3月期第4四半期連結会計期間(2026年1月1日～2026年3月31日)において、繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額▲102百万円(▲が益)を計上いたしましたことを合わせてお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期連結業績予想と実績の差異 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 33,844	百万円 378	百万円 538	百万円 374	円 銭 130.17
実績値(B)	33,864	727	758	502	174.94
増減額(B-A)	20	349	220	118	
増減率(%)	+0.1%	+92.5%	+41.0%	+34.3%	

(差異の理由)

売上高

売上高につきましては、前回公表の予想値と概ね同水準となりました。

営業利益

一部のODA関連案件に係る受注損失引当金について、案件自体は引き続き進行中であるものの、当期末時点で入手可能な情報および案件の進捗状況を踏まえて受注損失の発生可能性およびその金額を合理的な前提に基づき再度見積もった結果、当初想定していた引当金額を下回る計上額となりました。また、他の一部案件において追加的な受注損失引当金の計上が発生したものの、全体としては原価に計上する受注損失引当金の合計額が前回公表時の想定を下回りました。

これらの結果、売上高は前回予想と大きな乖離がないものの、売上総利益が想定を上回り、営業利益が前回発表時の378百万円を上回る結果となりました。

経常利益

前回予想発表時より、営業利益が増加したため、前回発表時の538百万円を上回る結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益

前回予想発表時より経常利益が増加した影響に加えて、過年度において中国の連結子会社に係る取引に関して貸倒引当金を計上しておりましたが、未収入金の回収が進展したことにより、回収済みの金額に対応する貸倒引当金の戻入による特別利益を計上しました。また、繰延税金資産の計上に伴い法人税等調整額（益）が発生したことから、前回発表時の374百万円を上回る結果となりました。

なお、2026年2月13日に公表いたしました業績予想は、当時入手可能であった情報および一定の前提に基づき算定したものであり、その後の案件進捗や回収状況等を踏まえた見積内容の見直しにより、実績との間に差異が生じたものです。

2. 法人税等調整額（益）の内容

今後の業績見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産が増加したことから、2026年3月期第4四半期連結会計期間において、法人税等調整額▲102百万円を計上いたしました。

この結果、2026年3月期第4四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）において、法人税等調整額3百万円（損）を計上していたため、2026年3月期第4四半期連結累計期間における法人税等調整額は▲98百万円（益）となりました。

法人税等調整額（益）の計上による業績への影響につきましては、本日公表の「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以 上